

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信
信託期間	2011年11月15日から2021年10月22日まで
運用方針	安定した収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	特定のユーロ円債を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合は、取得時において投資信託財産の純資産総額の70%以下とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益および売買益(評価損益を含みます。)等の全額とします。 収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 収益分配に充てなかった留保益の運用については特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。

運用報告書(全体版)

楽天USリート・トリプルエンジン (トルコリラ)毎月分配型

第90期(決算日：2019年5月22日) 第93期(決算日：2019年 8月22日)
第91期(決算日：2019年6月24日) 第94期(決算日：2019年 9月24日)
第92期(決算日：2019年7月22日) 第95期(決算日：2019年10月23日)

受益者の皆様へ

平素は当ファンドにご投資いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、このたび上記決算を行いましたので、当期間の運用状況につきまして、ご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

楽天投信投資顧問株式会社

<http://www.rakuten-toushin.co.jp/>

東京都世田谷区玉川一丁目14番1号

本資料(運用報告書(全体版))の記載内容のお問い合わせ先

TEL：03-6432-7746

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

※お客様のお取引内容等につきましては販売会社にお問い合わせください。

■本資料の表記に関する注記

- ・金額等の数値は表記未満切捨または四捨五入により表示しております。このため、各項目の合計の値が合計欄と一致しないことがあります。
- ・－印は、組入・売買が無いことを示します。

最近5作成期の運用実績

決 算 期		(分 配 落)	基 準 価 額		公 社 債 組入比率	純資産総額
			税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率		
第12 作成期	66期(2017年 5月22日)	円 4,509	円 100	% 4.7	% 95.3	百万円 1,186
	67期(2017年 6月22日)	4,733	100	7.2	96.0	1,244
	68期(2017年 7月24日)	4,661	100	0.6	94.9	1,252
	69期(2017年 8月22日)	4,464	100	△2.1	95.6	1,211
	70期(2017年 9月22日)	4,731	100	8.2	92.8	1,470
	71期(2017年10月23日)	4,577	100	△1.1	94.9	1,337
第13 作成期	72期(2017年11月22日)	4,179	100	△6.5	95.9	1,214
	73期(2017年12月22日)	4,273	100	4.6	95.6	1,238
	74期(2018年 1月22日)	3,951	100	△5.2	94.8	1,250
	75期(2018年 2月22日)	3,501	100	△8.9	96.4	1,050
	76期(2018年 3月22日)	3,313	100	△2.5	97.2	1,002
	77期(2018年 4月23日)	3,270	50	0.2	94.5	1,025
第14 作成期	78期(2018年 5月22日)	3,167	50	△1.6	96.3	959
	79期(2018年 6月22日)	3,065	50	△1.6	96.8	911
	80期(2018年 7月23日)	3,173	50	5.2	96.7	926
	81期(2018年 8月22日)	2,494	30	△20.5	96.1	772
	82期(2018年 9月25日)	2,549	30	3.4	97.0	782
	83期(2018年10月22日)	2,735	30	8.5	97.8	844
第15 作成期	84期(2018年11月22日)	3,042	30	12.3	97.1	896
	85期(2018年12月25日)	2,751	30	△8.6	98.4	809
	86期(2019年 1月22日)	2,723	30	0.1	97.0	800
	87期(2019年 2月22日)	2,850	30	5.8	98.0	792
	88期(2019年 3月22日)	2,885	30	2.3	98.3	768
	89期(2019年 4月22日)	2,795	30	△2.1	98.1	746
第16 作成期	90期(2019年 5月22日)	2,696	30	△2.5	96.3	744
	91期(2019年 6月24日)	2,758	30	3.4	98.5	757
	92期(2019年 7月22日)	2,866	30	5.0	99.5	741
	93期(2019年 8月22日)	2,843	30	0.2	98.4	728
	94期(2019年 9月24日)	2,948	30	4.7	99.3	749
	95期(2019年10月23日)	2,974	30	1.9	98.7	760

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドの運用方針に対応する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

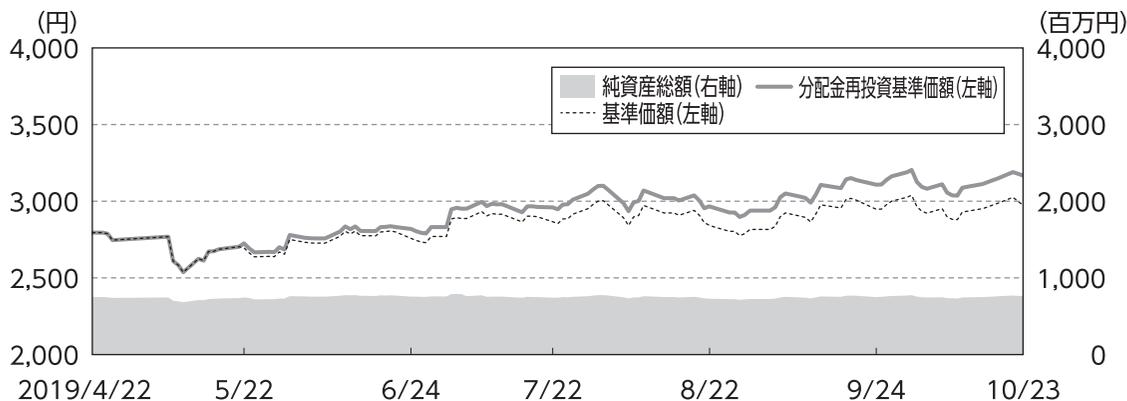
当作成期中の基準価額の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組入比率
			騰 落 率	
第90期	(期 首)2019年 4月22日	円 2,795	% —	% 98.1
	4月末	2,747	△1.7	97.2
	(期 末)2019年 5月22日	2,726	△2.5	96.3
第91期	(期 首)2019年 5月22日	2,696	—	96.3
	5月末	2,750	2.0	97.6
	(期 末)2019年 6月24日	2,788	3.4	98.5
第92期	(期 首)2019年 6月24日	2,758	—	98.5
	6月末	2,770	0.4	98.9
	(期 末)2019年 7月22日	2,896	5.0	99.5
第93期	(期 首)2019年 7月22日	2,866	—	99.5
	7月末	3,001	4.7	98.1
	(期 末)2019年 8月22日	2,873	0.2	98.4
第94期	(期 首)2019年 8月22日	2,843	—	98.4
	8月末	2,816	△0.9	98.0
	(期 末)2019年 9月24日	2,978	4.7	99.3
第95期	(期 首)2019年 9月24日	2,948	—	99.3
	9月末	3,025	2.6	99.1
	(期 末)2019年10月23日	3,004	1.9	98.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

当作成期中の運用経過と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



第90期首：2,795円

第95期末：2,974円(既払分配金180円)

騰落率：13.3%(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

■ 基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として米国の不動産投資信託指数に連動する上場投資信託(米国リートETF)の投資信託証券ならびに対円でのトルコリラのパフォーマンスを反映するユーロ円債(リート連動債)に投資しており、リート連動債の価格変動が基準価額の主な変動要因となります。リート連動債の主な価格変動要因は、米国リート、トルコリラ/円、米ドル/円の各相場変動となります。

当作成期間においては、米ドルやトルコリラは対円で下落したものの、トルコリラ/円の金利差を収益化する戦略が堅調だったほか、米国リートが大きく上昇し、基準価額を押し上げました。

■投資環境

●米国リート市場

当作成期間の米国リート市場は、5月や8月に米国株式がまとまって調整した局面でも値を保ちながら、段階的に切り上がっていく展開となり、前作成期末比大きく上昇しました。

当作成期間の米国株式は、FRB(米連邦準備制度理事会)の金融緩和への期待の広がりと共に伴う金利低下、堅調を保った米国国内の非製造業の景況感や消費活動等を支えに上昇しましたが、米中の貿易摩擦激化への懸念が高まった5月や8月には大きく下落するなど、不安定な動きも目立ちました。一方、米国リート市場は、株式市場に比べるとグローバルな通商問題や地政学リスクの影響を受けにくいことや、長期金利の低下が進むなかで利回り志向の資金の受け皿として投資家の選好が強まったこと等を背景に、期を通じて上昇基調を保つ良好な推移となりました。

※米国リート市場の参加者には利回り重視の投資家が多く、米長期金利の水準はリートの配当利回りと比較され、リートの相対的な投資妙味を判断する重要な材料となっています。長期金利の上昇は通常、リートの利回り面での相対的な魅力を低下させる要因として、逆に長期金利の低下はリートの利回り面での相対的な魅力を向上させる要因として、それぞれ認識される傾向があります。

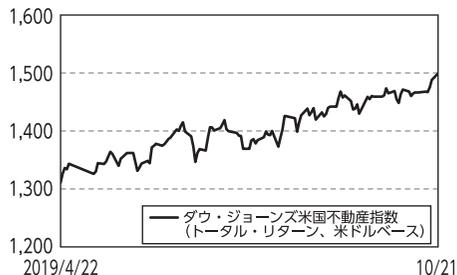
●為替市場

トルコリラ/円相場

当作成期間のトルコリラは、大きい振幅でもみ合う展開のなか、前作成期末比では対米ドル、対円とともに小幅に下落しました。

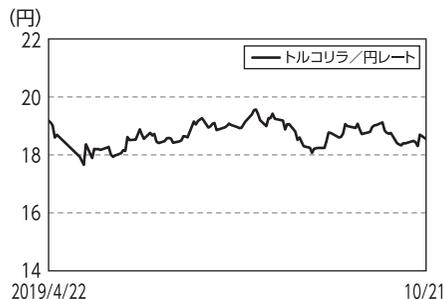
トルコリラは期初から5月上旬にかけて調整したのち、8月にかけて上昇したものの、その後は、方向感に乏しい不安定な推移となりました。

5月上旬は、トルコの最高選挙管理委員会が与党の敗北となったイスタンブール市長選挙の結果を無効とし、やり直し選挙を実施すると発表したことから、政治リスクへの警戒が強まり、トルコリラの急落を招きました。その後は、FRBの追加利下げやECB(欧州中央銀行)が金融緩和姿勢に転換することが広く織り込まれる過程で、主要先進国との金利差の大きい「高金利通貨」であるトルコリラに資金が流入しやすい環境となり、8月にかけてトルコリラを段階的に押し上げる展開となりました。しかし、トルコ中央銀行が景気浮揚を志向する政府からの圧力に屈する格好で、7月と9月に市場予想を上回る利下げを実施し、金利面から投資妙味が段階的に縮小したことが徐々にトルコリラの重しとなりました。また、ロシア製ミサイルの購入問題やトルコ軍のシリア侵攻に関連して対米関係が緊迫するなど、地政学リスクの高まりも折に触れトルコリラ売り材料となりました。



(出所)ブルームバーグのデータ等を基に楽天投信投資顧問にて作成

※ファンドの基準価額への反映を考慮し、作成期間を1営業日前にずらして作成しております。



(出所)ブルームバーグのデータ等を基に楽天投信投資顧問にて作成

※ファンドの基準価額への反映を考慮し、作成期間を1営業日前にずらして作成しております。

米ドル／円相場

当作成期間の米ドル／円相場は、前作成期末比円高となりました。

当作成期は期初から円高基調となり、8月には1米ドル=106円を挟む水準での推移となりました。しかし、9月以降は、円安地合いが徐々に強まり、期末にかけては1米ドル=108円台で推移しました。

米ドル／円相場は、米長期金利の低下基調が鮮明となった5月以降、段階的に円高／米ドル安が進みました。こうした日米金利差の縮小による円高圧力に加えて、米中の貿易問題も、折に触れ円買い材料となり、特に8月1日にトランプ大統領が対中関税の引き上げを発表すると、リスク回避目的の円買い圧力が急速に強まったことから、大きく円高が進む展開となりました。しかし、9月以降は、香港での「逃亡犯条例」の正式撤回や英国における「合意なきEU(欧州連合)離脱」懸念の後退、そして、米中の交渉再開と両者の対立緩和期待の広がり等を背景に、投資家のリスク選好姿勢が回復するなか、円安圧力が優勢となる展開となりました。

■当ファンドのポートフォリオ

追加設定・一部解約による資金フローを鑑みながら、リート連動債のパフォーマンスを享受すべく、同債券の組入比率を高位に維持するよう運用を行いました。

■当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

■分配金

分配金額は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益および売買益(評価損益を含みます。)等の全額を分配対象額とし、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定しました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、投資信託財産内に留保し、運用の基本方針にもとづいて運用いたします。

●分配原資の内訳

(1万口当たり・税込)

項 目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
	2019年4月23日～ 2019年5月22日	2019年5月23日～ 2019年6月24日	2019年6月25日～ 2019年7月22日	2019年7月23日～ 2019年8月22日	2019年8月23日～ 2019年9月24日	2019年9月25日～ 2019年10月23日
当期分配金 (円)	30	30	30	30	30	30
(対基準価額比率) (%)	(1.101)	(1.076)	(1.036)	(1.044)	(1.007)	(0.999)
当期の収益 (円)	29	30	30	30	30	30
当期の収益以外 (円)	0	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	5,801	5,804	5,809	5,810	5,814	5,817

(注1) 「対基準価額比率」は「当期分配金」の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 「当期の収益」は経費控除後の配当等収益および経費控除後の有価証券売買等損益、「当期の収益以外」は収益調整金および分配準備積立金です。

(注3) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、円未満を切捨てて表示しているため、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

当ファンドでは、引き続きリート連動債の組入比率を高位に保ちながら、安定した収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行ってまいります。



(出所)ブルームバーグのデータ等を基に楽天投信投資顧問にて作成

※ファンドの基準価額への反映を考慮し、作成期間を1営業日前にずらして作成しております。

1万口当たりの費用明細

項 目	当作成期		項 目 の 概 要
	2019年4月23日～2019年10月23日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	22円	0.774%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 ※期中の平均基準価額は2,851円です。
(投信会社)	(11)	(0.387)	・ 委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(10)	(0.359)	・ 購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(1)	(0.028)	・ 運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	—	—	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	5	0.165	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(2)	(0.065)	・ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.012)	・ 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷費用)	(3)	(0.089)	・ 印刷費用は、有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷および提出等に係る費用
(その他)	(—)	(—)	・ その他は、金銭信託への預入金額に対する手数料等
合 計	27	0.939	

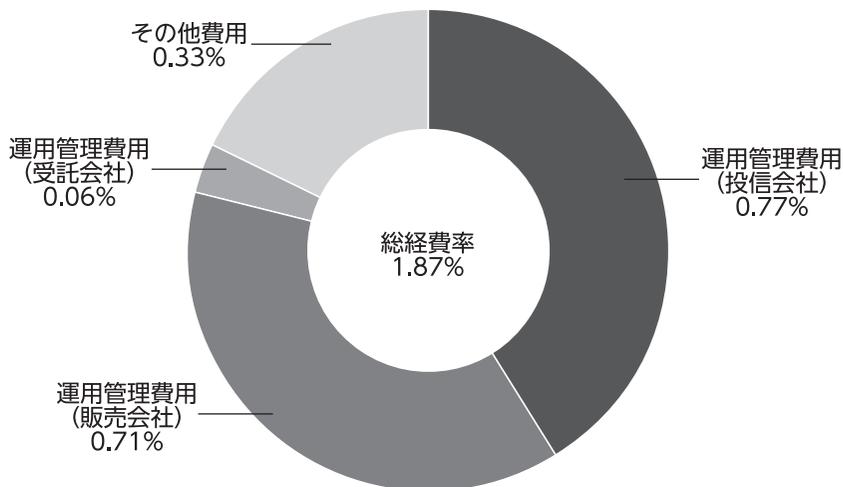
(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ (参考情報) 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.87%です。



(注1) 各費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況

■ 公社債

		当 作 成 期	
		買 付 額	売 付 額
国 内		千円	千円
社 債	券	22,904	52,041

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

利害関係人※との取引状況等

該当事項はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

自社による当ファンドの設定・解約状況

該当事項はありません。

組入資産の明細

■ 国内(邦貨建) 公社債種類別

区 分	当 作 成 期 末						
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
普通社債券 (含む投資法人債券)	2,935,000 (2,935,000)	750,391 (750,391)	98.7 (98.7)	— (—)	— (—)	— (—)	98.7 (98.7)
合 計	2,935,000 (2,935,000)	750,391 (750,391)	98.7 (98.7)	— (—)	— (—)	— (—)	98.7 (98.7)

(注1) ()内は非上場債で内書き。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。小数点以下第2位を四捨五入。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社よりデータを入手しています。

■ 国内(邦貨建) 公社債銘柄別

当 作 成 期 末	当 作 成 期 末			
銘 柄 名	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
普通社債券(含む投資法人債券)	%	千円	千円	
STAR Helios リート連動債(トルコリラ) 04/09/21	3.60	2,935,000	750,391	2021/4/9
合 計		2,935,000	750,391	

(注) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成

項 目	当 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	750,391	96.7
短 期 金 融 資 産、そ の 他	25,741	3.3
投 資 信 託 財 産 総 額	776,132	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本及び基準価額の状況ならびに損益の状況

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	(2019年5月22日)	(2019年6月24日)	(2019年7月22日)	(2019年8月22日)	(2019年9月24日)	(2019年10月23日)現在
	第90期末	第91期末	第92期末	第93期末	第94期末	第95期末
(A)資 産	754,805,610円	771,406,254円	752,521,555円	739,307,303円	764,094,821円	776,132,130円
コール・ローン等	36,706,092	25,182,544	13,953,734	21,718,109	19,638,689	25,320,650
公 社 債(評価額)	717,080,550	746,088,350	738,357,350	717,314,000	744,110,550	750,391,450
そ の 他 未 収 収 益	1,018,968	135,360	210,471	275,194	345,582	420,030
(B)負 債	9,893,119	14,321,982	10,578,463	10,481,056	14,625,027	15,795,541
未 払 収 益 分 配 金	8,288,943	8,234,064	7,765,336	7,691,005	7,626,491	7,669,649
未 払 解 約 金	578,190	4,923,721	1,820,385	1,697,580	5,848,194	7,087,948
未 払 信 託 報 酬	903,136	1,029,062	878,082	965,526	1,012,370	916,176
未 払 利 息	-	-	-	-	53	72
そ の 他 未 払 費 用	122,850	135,135	114,660	126,945	137,919	121,696
(C)純資産総額(A-B)	744,912,491	757,084,272	741,943,092	728,826,247	749,469,794	760,336,589
元 本	2,762,981,282	2,744,688,144	2,588,445,447	2,563,668,638	2,542,163,951	2,556,549,736
次 期 繰 越 損 益 金	△2,018,068,791	△1,987,603,872	△1,846,502,355	△1,834,842,391	△1,792,694,157	△1,796,213,147
(D)受 益 権 総 口 数	2,762,981,282口	2,744,688,144口	2,588,445,447口	2,563,668,638口	2,542,163,951口	2,556,549,736口
1万口当たり基準価額(C/D)	2,696円	2,758円	2,866円	2,843円	2,948円	2,974円

(注) 期首元本額は2,670,742,479円、第90～95期中追加設定元本額は332,964,636円、第90～95期中一部解約元本額は447,157,379円です。

■ 損益の状況

第90期(自2019年4月23日 至2019年5月22日) 第93期(自2019年7月23日 至2019年 8月22日)
 第91期(自2019年5月23日 至2019年6月22日) 第94期(自2019年8月23日 至2019年 9月24日)
 第92期(自2019年6月23日 至2019年7月22日) 第95期(自2019年9月25日 至2019年10月23日)

項 目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
(A) 配 当 等 收 益	9,197,362円	9,412,606円	9,034,078円	8,881,154円	8,757,514円	8,802,399円
受 取 利 息	9,128,324	9,351,018	8,963,174	8,817,582	8,689,492	8,729,607
そ の 他 收 益 金	70,914	63,821	72,087	64,546	69,463	73,760
支 払 息	△1,876	△2,233	△1,183	△974	△1,441	△968
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△25,911,988	17,099,714	27,245,673	△6,241,246	26,508,120	6,348,328
売 買 益	578,992	17,306,896	29,375,917	175,487	26,826,282	6,371,143
売 買 損	△26,490,980	△207,182	△2,130,244	△6,416,733	△318,162	△22,815
(C) 信 託 報 酬 等	△1,110,901	△1,241,256	△1,075,420	△1,175,034	△1,231,636	△1,117,664
(D) 当 期 繰 越 損 益 金	△17,825,527	25,271,064	35,204,331	1,464,874	34,033,998	14,033,063
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△432,627,506	△445,881,435	△399,265,042	△364,322,802	△362,628,010	△328,496,952
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△1,559,326,815	△1,558,759,437	△1,474,676,308	△1,464,293,458	△1,456,473,654	△1,474,079,609
(配 当 等 相 当 額)	(1,409,217,761)	(1,403,986,198)	(1,326,216,264)	(1,315,372,441)	(1,306,601,972)	(1,318,972,022)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△2,968,544,576)	(△2,962,745,635)	(△2,800,892,572)	(△2,779,665,899)	(△2,763,075,626)	(△2,793,051,631)
(G) 計 (D+E+F)	△2,009,779,848	△1,979,369,808	△1,838,737,019	△1,827,151,386	△1,785,067,666	△1,788,543,498
(H) 收 益 分 配 金	△8,288,943	△8,234,064	△7,765,336	△7,691,005	△7,626,491	△7,669,649
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△2,018,068,791	△1,987,603,872	△1,846,502,355	△1,834,842,391	△1,792,694,157	△1,796,213,147
追 加 信 託 差 損 益 金	△1,559,326,815	△1,558,759,437	△1,474,676,308	△1,464,293,458	△1,456,473,654	△1,474,079,609
(配 当 等 相 当 額)	(1,409,217,761)	(1,403,986,198)	(1,326,216,264)	(1,315,372,441)	(1,306,601,972)	(1,318,972,022)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△2,968,544,576)	(△2,962,745,635)	(△2,800,892,572)	(△2,779,665,899)	(△2,763,075,626)	(△2,793,051,631)
分 配 準 備 積 立 金	193,706,619	189,224,501	177,663,289	174,250,568	171,505,714	168,235,536
繰 越 損 益 金	△652,448,595	△618,068,936	△549,489,336	△544,799,501	△507,726,217	△490,369,074

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<分配金の計算過程>

項 目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
(A) 配当等収益額(費用控除後)	8,086,461円	8,971,960円	8,766,298円	7,706,120円	8,451,699円	8,153,036円
(B) 有価証券売買等損益額 (費用控除後・繰越欠損金補填後)	－円	－円	－円	－円	－円	－円
(C) 収益調整金額	1,409,217,761円	1,403,986,198円	1,326,216,264円	1,315,372,441円	1,306,601,972円	1,318,972,022円
(D) 分配準備積立金額	193,909,101円	188,486,605円	176,662,327円	174,235,453円	170,680,506円	167,752,149円
(E) 分配対象収益額(A+B+C+D)	1,611,213,323円	1,601,444,763円	1,511,644,889円	1,497,314,014円	1,485,734,177円	1,494,877,207円
(F) 期末残存口数	2,762,981,282口	2,744,688,144口	2,588,445,447口	2,563,668,638口	2,542,163,951口	2,556,549,736口
(G) 収益分配対象額(1万口当たり) (E/F×10,000)	5,831.43円	5,834.70円	5,839.97円	5,840.51円	5,844.35円	5,847.23円
(H) 分配金額(1万口当たり)	30円	30円	30円	30円	30円	30円
(I) 収益分配金額 (F×H/10,000)	8,288,943円	8,234,064円	7,765,336円	7,691,005円	7,626,491円	7,669,649円

分配金のお知らせ

	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
1万口当たり分配金	30円	30円	30円	30円	30円	30円

収益分配金の支払いについて

- ・収益分配金は、取扱い販売会社において決算日から起算して5営業日までに支払いを開始いたします。
- ・分配金再投資コースを選択されている場合は、各決算日の基準価額に基づき、お客様の口座に繰り入れて再投資いたします。

収益分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金は、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」の区分があり、分配後の基準価額が個々の受益者の個別元本と同額または上回る場合は、全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個々の受益者の個別元本を下回る場合は、その下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

受益者別の普通分配金に対する課税について

個人の受益者

20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%、および地方税5%)の税率となります。

法人の受益者

個人の受益者とは異なります。

※税法が改正された場合等は、上記の内容が変更される場合があります。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

お知らせ

該当事項はありません。